

### 民主・野田氏首相に

#### 梶原氏「党ひとつに」

#### 谷氏「政策論議ない」

8月30日、民主党代表の野田佳彦氏が首相に就任したことを受け、兵庫5区選出の梶原康弘衆院議員(民主)は、「第1回投票は、中立的で党内対立を防ぐことに同調し、鹿野道彦氏に、決選投票

一方、自民党の谷公一衆議院議員は、「政策論議はほとんどなく、小沢鳩山が色濃く出た数合わせの選挙に映った」と批判し、野田氏については「一番まともな方」。その上で、「誰が首相になっても、震災復興については協力する姿勢に変わりはない。ただ、いつまでもどろどろにはいけません。信を問う時期は間近に来ている」と話した。

では、鹿野氏と同じく、挙党体制を掲げた野田氏に投票した」と投票時の思いを打ち明け、「野田氏は地味だが、堅実な人。『トシヨウ』らしく、地道に着実に政策を実現してほしい」と期待する。